

2021' 7 DancersWeb

トップインタビュー Vol.72



今井智也／谷桃子バレエ団プリンシパル

「常に自然体を心がけています」

2003年に谷桃子バレエ団に入団して以降、主要な役どころを任され、輝き続けるプリンシパル・今井智也。同バレエ団の5年ぶりの再演となる『オセロー』～妻を愛しすぎた男～の主演に抜擢。シェイクスピア原作の同作に、日原永美子の振付とアルフレッド・シュニトケの音楽を使用。オセローの妻のデスデモーナ役に佐藤麻利香、オセローの旗手イアーゴ役に三木雄馬、オセローの副官のキャシオー役に檜山和久、イアーゴの妻エミリア役に山口緋奈子が出演。入団18年を迎えた今井が、主演・初役となるオセローへの意気込みなどを語ってくれた。



— 2016年に〈NHK バレエの饗宴 2016〉の初演と、今回ではどのような違いがありますか？

〈NHK バレエの饗宴 2016〉にプロローグをつけています。また今回は主役のパ・ド・ドゥが追加されました。より心情を感じられる作品となっています。

— 役へのアプローチはどのように進めていらっしゃいますか？

バレエ団が上演した6年前の『オセロー』のとき僕は休団中で出演していないので今回初めてです。音がすごく難しくて、デスデモーナ役の佐藤麻利香さんとお互いの呼吸を合わせながらやらないとひとつ一つの踊りが合わなくなってしまうので、音を聴き込みながら合わせています。

— 本作は「理不尽な嫉妬」から展開される物語ですが、今井さんがこれまで「嫉妬」を感じた相手は？

「嫉妬」という言葉でまとめることはできませんが、僕も信用していた人からの失敗した過去など、いろいろ経験してきたので（笑）、そういう面では役に入り込みやすいかもしれないですね。

— 本作のみどころと、この役に賭ける思いをお聞かせください。

僕の場合は常に自然体でいくことを心掛けています。なので、初演時の『オセロー』の映像に引っ張られてしまうので、あえてあまり観ないようにしています。

自分で「こういう風にやろう！」と思ってやるのではなく、リハーサルの中で溢れ出てくるものを大切にしています。

「自由に観てください！」ということが一番ですね。お客様がどう受け止めてどう感じるかは自由なので、受け止めたまま感じていただいて、それが感動に繋がれば嬉しいですね。

— 幼年期のころも伺いたいのですが、10歳よりバレエ教室を習い始めたきっかけは何でしょうか？

母親の希望でした。

— 学生のころバレエ以外で熱中していたものは？

バレエ以外は考えたこともなかったです。バレエを踊ることに夢中でした。

— バレエダンサーでなかったら何になっていたと思われますか？

バレエダンサー以外、考えられないです。

— ダンサーになる前の憧れのダンサーは？

ミハイル・バリシニコフです。

— プロのダンサーになろうと決意したのはいつ頃でしょうか？

サンフランシスコ・バレエ・スクール留学したことがきっかけです。

— 留学に行く前と後では何が一番変わりましたか？

パ・ドゥ・ドゥ・クラスがあって、そのレッスンができることが嬉しかったですし、とても楽しかった。この時期に踊る意識が大きく変わりました。

— この留学中でもっとも良かった思い出は何ですか？

多くのバレエのクラスを受けることができる環境だったので、僕は自分のクラス以外のクラスも多く受けました。この時期にコンテンポラリーダンスを初めて経験しましたが、踊ることが本当に楽しかったですね。

— 帰国を決意された理由は？

サンフランシスコ・バレエ・スクール留学中に、昇級し舞台に出演できるようになりました。3年生になってバレエ団に入れると思っていましたが、それが叶わなかったので日本に帰国することに決めました。

ー ターニングポイントとなった出演舞台を教えてください。

谷桃子先生の指導の元で主役デビューした、2005年の谷桃子バレエ団 新春公演『ジゼル』の全幕の舞台です。

ー 踊る原動力／モチベーションはどんなところにありますか？

踊ることは、僕にとって生きることです。

谷桃子バレエ団

『オセロー』～妻を愛しすぎた男～

2021年8月28日(土)、29日(日)新国立劇場 中劇場

<https://www.tanimomoko-ballet.or.jp/ticket-OTHELLO.html>

【今井智也・プロフィール】

10歳より出井幹子バレエ教室でバレエを始める。1998年英国ロイヤル・バレエ・スクール サマースクールに留学。1999年第3回世界バレエ&モダンダンスコンクール セミファイナリスト。2000年スクール・オブ・アメリカン・バレエ サマーコースにスカラシップ留学。2001年第14回神戸全国洋舞コンクール ジュニアの部第4位。第34回埼玉全国舞踊コンクール 1部第2位。第5回青少年のためのバレエコンクール シニアの部第1位。2003年東京新聞主催全国舞踊コンクール パ・ド・ドゥ部第2位。2003年谷桃子バレエ団に入団。2005年に同バレエ団「ジゼル」全幕にてアルブレヒトを踊り主役デビュー。以降各公演にて主役を務める。